

## アプローチカリキュラムの自園化について

新潟市一貫教育推進協議会 幼・保・小連携部会

### ○ 基本的な考え方

- 特別な行事や活動を計画するのではなく、通常の園の取組の中で、短期指導計画（幼稚園）や月間・週日指導計画（保育園）等を作成する際、アプローチカリキュラムに示されている姿を考慮して立案し、実践を行います。
- 「新潟市の重点」欄の「経験してほしい重点内容」に示されている姿については、文章の変更はせず、時期と期間のみ、園の実態に合わせて変更することは可能です。
- 「小学校・他園との交流活動」「行事等」「小学校・他園との連携」「保護者との連携」は、各園の実態に合わせた文言でアプローチカリキュラムと園の他の計画の両方に明記して活用します。
- 実際に使いながら園の実態に合わせ、各欄に付け足しや書き込みをして活用します。

### ○ Q&A

質 問	回 答
① 新潟市の重点の欄は、各園で変更する必要はないのか。新潟市の重点から下の欄を自園で加えればよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重点の欄は時期と期間を変更することが可能です。文言は変更しません。</li> <li>• 自園化で記入する欄は「小学校・他園との交流活動」「行事等」「小学校・他園との連携」「保護者との連携」です。</li> </ul>
② 若い保育士や経験の浅い保育士が、文章だけを読み取って保育に取り入れるのは難しいという意見があった。具体的な遊びや活動を入れた方が分かりやすいのではないのか。また、その場合は、どこに記載するとよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アプローチカリキュラムでなく、短期指導計画（幼稚園）や月間・週日指導計画（保育園）等に記入します。</li> <li>• 「かかわる力の基盤づくり」に関わる遊びや活動については、今後、研修の機会を設けてお伝えしていく予定です。</li> </ul>
③ 自分の園で、育てたいところなど、新潟市の重点の枠につけ足してもよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新潟市の重点の扱いは、上記のとおりです。他に必要があれば、付け足しや書き込みをして活用します。また、必要によって、短期指導計画（幼稚園）や月間・週日指導計画（保育園）等、園の計画に明記します。</li> </ul>
④ いつ頃（何月ごろ）立てるとよいのか。また、園として計画を立てるのか、クラスの担任が立てていくものなのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アプローチカリキュラムは、年度当初に作成し、全職員で共通理解します。短期指導計画（幼稚園）や月間・週日指導計画（保育園）等については、通常、の時期に作成します。</li> </ul>
⑤ 自園は、言葉での伝え合い（緑の枠）が弱いので、もう少し力を入れて育てていきたいが、少し具体的につけ加えてもよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要に応じて付け足しや書き込みをして活用するとともに、短期指導計画（幼稚園）や月間・週日指導計画（保育園）等、園の計画に明記して日常の取組に生かします。</li> </ul>
⑥ 付け加えることが可能な場合、枠の幅や経験させたい期間などを自園なりに変え、移動させてもよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 付け加えた部分は、園の計画によります。新潟市の重点に関しても、時期と期間は実態に合わせて変更することが可能です。</li> </ul>

つくって終わりのカリキュラムではなく、子どもたちのよりよい接続のために進化させていくものです。使えるアプローチ・カリキュラムになるよう検討してってください。